

京都大学ジュニアキャンパス 2008

2008年9月20日から9月21日の2日間にかけてジュニアキャンパスが開催されました。この企画は、中学生を対象に学問の最先端を研究している現場に実際に来て、見て、体験することで、将来学びたいことを考えるきっかけにしてもらうことを目的に2005年度から行われています。今年は、全学部からいくつかの分野の先生方が中学生向けの講義をされると同時に、大学院生のポスターセッションを行いました。本研究室からは近藤教授がその1人として「食の安心・安全を支える食料生産ロボットとトレーサビリティ」という題目で1時間30分の講義をされると同時に大学院生の椎木、山本がポスターを展示しました。

講義では農業ロボットや施設等の写真や動画を多数用いて、農業分野で活躍している様々なロボット達を紹介し、研究室の学生によるデモ実験を行いながら、トレーサビリティの重要性と実現する為の多くの技術を理解して頂きました。事故米などの最近の食に対する事件が多いということもあり、食の安全・安心に関心が高まる中、中学生はもちろんのこと保護者の方にも満足頂ける内容であり、好評の中無事終わることが出来たように思います。

